

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 21 日作成)

小委員会名	広域避難小委員会	主 査 名：岩見達也 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会	委員長名：萩原一郎
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>現代都市における地震火災による広域避難リスクの分析、災害事例における延焼火災による死因の再分析、行政が策定する広域避難計画の問題点の整理を通じて、今後の広域避難計画のあるべき姿を論じることを目的とし、以下の活動を行う。</p> <p>初年度： 公開小委員会を開催し、下記について議論を深める。 ・事例に基づく広域避難時の人的被害発生に至るメカニズムの解明 ・広域避難における避難リスクに影響を与える要因の整理・評価 ・広域避難における避難リスク評価手法に関する議論 ・避難リスク評価手法に基づくシミュレーション等モデル構築に関する議論 ・避難リスク軽減対策の検討</p> <p>2 年度： 大会で研究協議会を開催し、研究協議会の資料作成を通じて 2 年度までの成果をまとめる。 公開小委員会を開催し、1 年目の項目について議論を深める。</p> <p>3 年度： 公開小委員会を開催し、下記について議論を深める。 ・広域避難時の“大量避難困難者発生”事象に関する、状況分析と生起確率等にもとづく地震火災からの広域避難リスクに関する分析 ・地震後に生じる消火活動・救助活動等の種々の活動状況と広域避難リスクの関連分析</p> <p>4 年度： 大会で PD を開催し、資料作成を通じて 4 年度までの成果をまとめる。 公開小委員会を開催し、下記について議論を深める。 ・広域避難対策を支える各種防災対策とその効果に関する整理 ・PD での議論をさらに深め、学術的知見の体系化をはかり、研究成果の積極的な公表に努める。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：岩見達也 (建築研究所) 幹事：加藤孝明 (東京大学)、廣井悠 (名古屋大学) 委員：市古太郎 (首都大学東京)、糸井川栄一 (筑波大学)、梅本通孝 (筑波大学)、江田敏男 (建築ピボット)、大佛俊泰 (東京工業大学)、関沢愛 (東京理科大学)、竹谷修一 (国土技術政策総合研究所)、西田幸夫 (埼玉大学)、吉川仁 (防災アンド都市づくり計画室)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2018 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	なし
大会研究集会	防火部門 PD 「糸魚川市大規模火災とこれからの都市防火を考える」 『同名資料』 参加者数 42 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>2 月までに 3 回の公開小委員会を開催し、糸魚川市大規模火災等の強風下の市街地火災及び広域避難、消防活動に関する課題について整理し、課題解決に向けた方向性の検討・議論を行った。</p> <p>また、大会ではこれまでの成果を踏まえて防火部門パネルディスカッション「糸魚川市大規模火災とこれからの都市防火を考える」を企画し、糸魚川市大規模火災の現象面や社会面の考察、広域避難や消防活動に関する議論に加え、将来を見据えた都市防火対策の今後の方向性に関して議論を行うとともに、資料作成を通して成果のとりまとめを行った。</p>
委員会活動の問題点・課題	なし